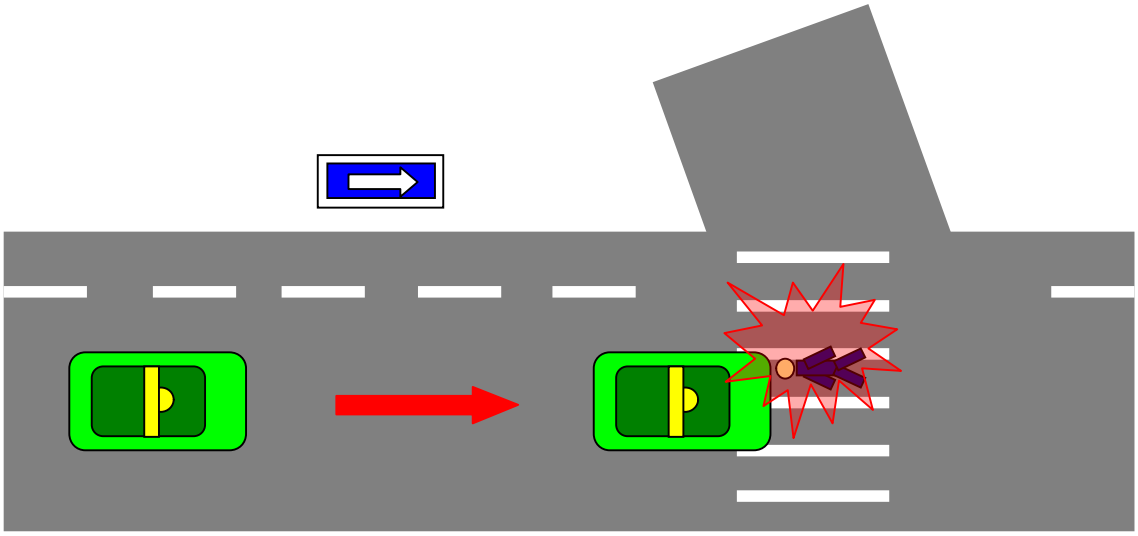
タクシー事故事例	
事例2．路上に寝ていた人を撥ねた事故	
発生時刻　天候	午前3時頃　晴れ
道路状況	都道府県道　制限速度30km／h　乾燥路面　事故時の速度30km／h
種別・用途・形状	普通　乗用　箱形
事故種類	死傷事故
損害の程度	1名死亡

◎事故の概要
　当該タクシーは、一方通行路を走行していたところ、路上に何かを発見したが踏み越えられると思いそのまま通過した。通過した後に不安に思い降りて確認をしたところ、轢いたのが人であることがわかった。この事故により、路上で寝ていた人が死亡した。

【事故の概略図】



事故の推定原因	路上に何かあると知りながらそのまま通過してしまった。
再発防止対策	路上に不審物を発見した際は、必ず停止して不審物を確認し、交通の障害とならないよう処置するとともに、人の場合は警察に連絡することを徹底する。